

年間管理料 不要、継承者の有無 不問、碑石撤去処理費用 不要、宗旨宗派 不問
——— 新しい「お墓」のかたち、誕生。



— 満成寺浄苑墓地 「つれづれ静か」 概要のご案内 —

いま漕こぎいだす、いにしえの渡わたし舟ぶね

ひとり静しずかに佇たたずむ想おもい

ふたり静しずかに佇たたずむ想おもい

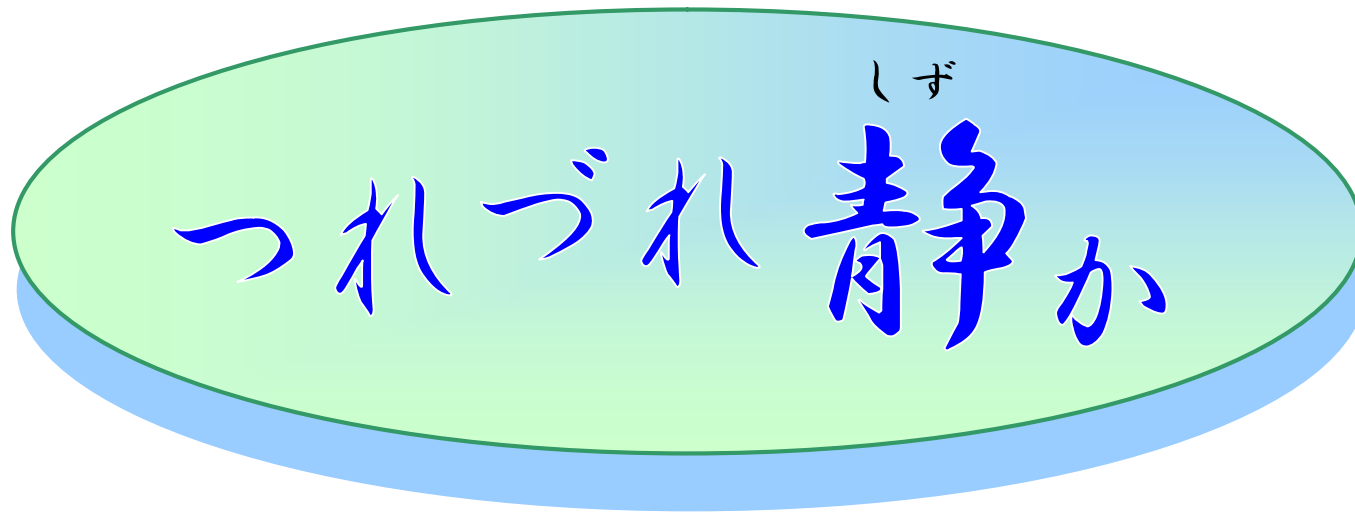
わかつことなく、同どうしゅう舟うちの裡

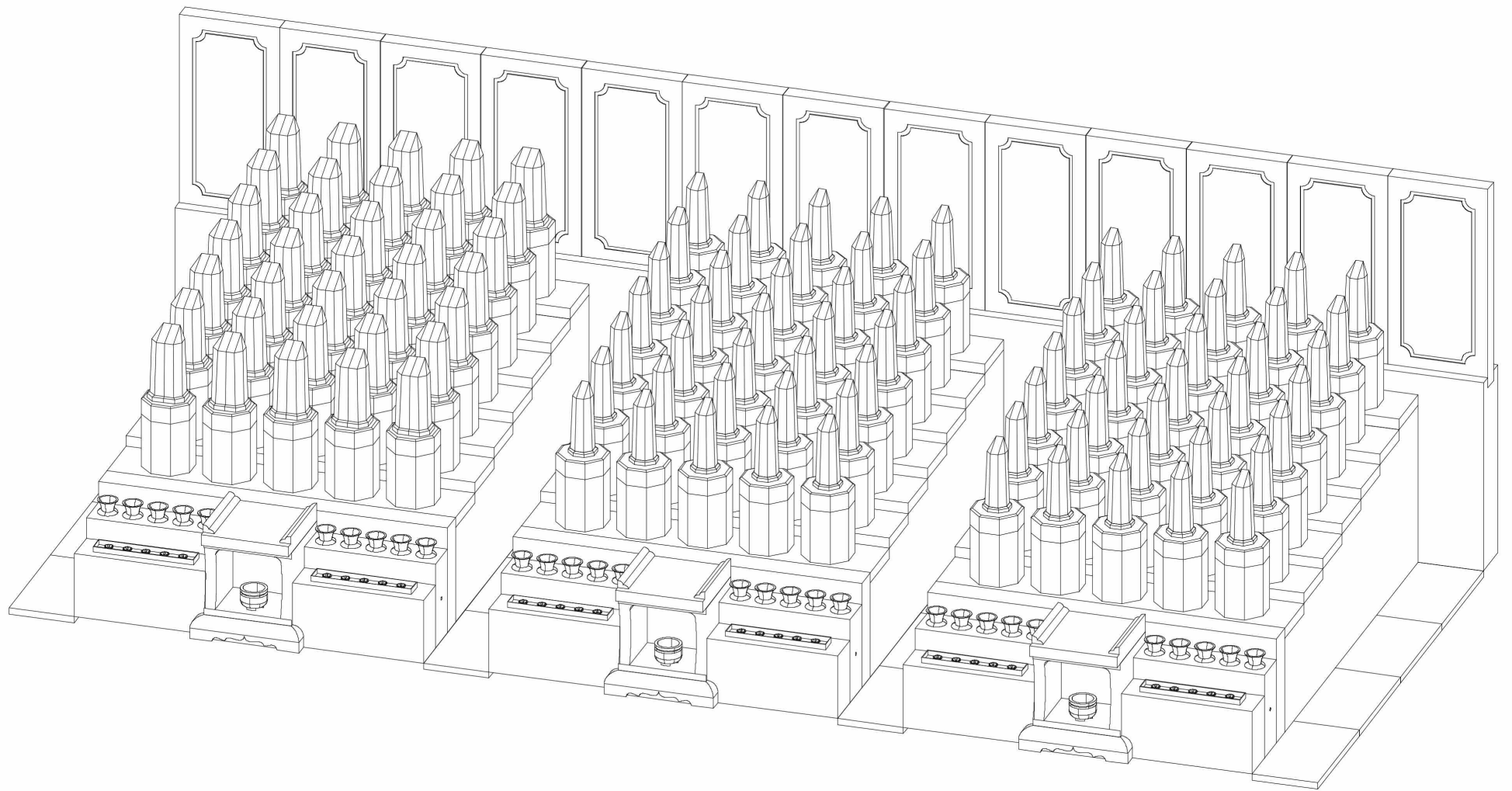
つ連れてつ連れだちともに往ゆく

なぎみなもきおくうみ
風の水面よ、記憶の海よ

いざゆかんとともに、いとしき日ひ々びの彼かなた方へ

いつか、「ただいま」と言える場所…





愛知県愛西市諸桑町 満成寺浄苑墓地 内 徒然静か 特別区 予定販売総数 105区画

※完売時のイメージ図

(時代を映す…「つれづれ静か」)

あいさいし もろくわ まんじょうじじょうえん つれづれ しず
愛西市諸桑の地、満成寺浄苑墓地の敷地内に、「徒然静か」区画がございます。

予定総数、105 基。おふたり用の「二人静か」碑と、三名様以上でもご利用になれる「徒然静か」碑をご用意しております。

近年、さまざまなご事情から、「お墓じまい」をされる方が増えてきました。

- 「今後、お墓をみてくれる人がいない。みる人がいなければ、ご先祖様にも申し訳ない」
- 「せめて、私が元気なうちに、『お墓じまい』しておこう」

このように、やむを得ないご事情のもと、悩んだ末に「お墓じまい」を選択するケースは決して少なくありません。

時代の流れとして、それは仕方のないことです。

…では、その後は？



(願い…「お墓を諦めてほしくない」)

「かたちのないものに手を合わせる事が、これほど違和感を伴うとは思わなかった」

海上御散骨の経験をお持ちの方が、ふと仰ったことばです。

お墓参りを思い出して下さい。

墓石を磨き、お花の水を取り替え、周囲を掃除して、手を合わせる。

そこに眠る大切な人、お世話になった人々と、墓石の前で想いを交わす。

日々の平穏を感謝し、思い出を語り、時には弱音を吐いて、愚痴も聞いてもらいたくて。

そこに、もしも墓石がなかったら？

「かたちのないものに手を合わせる事が、これほど違和感を伴うとは思わなかった」

少なくとも私自身は、何もないところへ具体的な想いを伝えられるほど、心強くはありません。

(「いつでも、いつまでも、こころやすく」お墓参りができるように)

気兼ねなくお墓参りができることも、大切です。

【 「つれづれ静か」の特長 】

- 1 ・ 年間管理料 不要
- 2 ・ 継承者の有無 不問
- 3 ・ 宗旨宗派 不問
- 4 ・ 碑石撤去費用 不要
- 5 ・ いつでも好きな時にお参りできます
- 6 ・ 土に還れる墓石構造です
- 7 ・ ご生前建立が可能です

思い立った時、大切な人に会いに来てください。いつでも自由にお参りいただけます。

もちろん、お花やお線香、ろうそくをお供えできる設備もあります。

そして、満成寺浄苑墓地では都度に合同法要が営まれますが、参加は自由で費用もありません。

「いつでも、いつまでも、こころやすく」…「つれづれ静か」の約束です。



(古代の水な戸…「諸桑の地」について)

少しだけ歴史の話を。

1838(天保9)年4月、江戸時代も終わり頃の出来事です。

「徒然静か」区画がある満成寺の境内から、古代の大型木製船が掘り出されました。

どうも土さらえ作業をしているさなかの、驚くべき発見であったようです。

石田泰弘氏の研究論文『「諸桑の古船」小考(佐織町教育委員会)』によりますと、1994年時点での科学的な年代測定法によって、出土した木製船は今から約2000年前に作られたものと推定されています。

発掘当時に著された文献から、木製船の全長は十三間余り、つまり20メートル以上あり、最大幅は約七尺(2メートル)ほどであったといえます。史料の記述に従う限り、何人も乗れる大きな船であったようです。

約 2000 年前、諸桑周辺は今よりも海に近い位置にありました。約 5500 年前の「縄文海進」による現象です。

その後、地球の平均気温が徐々に低下するとともに南北両極の氷が増え、また地殻変動その他の要素の変化を以て、海水面は相対的に下がっていきました。

津「島」市をはじめ、平成の大合併前の呼び名である中「島」郡など、古来の地名に「島」がつく場所は、縄文海進の時期には正に「島」の有様であったと思われます。

現在、「徒然静か」区画のすぐ右手には、この古代の船が出土した場所を示す記念碑が建てられています。

木製船に揺られていた当時の人々にとって、はるか南方に大きくひろがる旧伊勢湾の果ては、あたかも見知らぬ別の世界であるように感じられたことでしょう。

「 この見果てぬ水平線の彼方に漕ぎ出でて、ながいながい旅をすれば、
もしかしたら私の大切な人たちに、また会えるかもしれない 」

大きな大きな木の船に揺られながら、私たちのご先祖様たちが不意にそのような想いを抱いたとしても、決して不思議ではないような気がします。

(さいごに)

「つれづれ静か」は、お墓じまい「後」のためだけでなく、これからお墓の建立をお考えの皆様にも役立ちます。

「二人静か」碑、「徒然静か」碑ともに、**内部構造は一般的な墓石と同じ**です。御遺骨が土に還れるように、カロート(埋葬室)は通常の墓石と同じ構造を採用しています。

この点が、一旦納骨すると改葬時の御遺骨取り出しが事実上不可能な「合祀形態」とは、大きく異なるポイントです。

将来的に一般的な墓石をご建立になる場合でも、目の前にひろびろとした墓地がございます。

同じ墓地ですから、複雑な改葬手続きも必要ありません。碑石の撤去費用も不要です。

「つれづれ静か」は、未来への夢の架け橋でもありたいと考えています。この機会にどうぞご検討下さい。

大切な方を弔う皆様の想いを、私たちは常に全力でサポートします。



(各「静か」碑について)

【 ふたり しずか 二人静か 】



お二人用

石碑・標準カロート付

据付代込

※ 字彫り代別途
¥20,000- / 1名様(税込)

墓地区画使用料 ¥ 120,000-
静か碑代金 ¥ 360,000- (税込)
参考費合計 ~~¥ 480,000~~

特別限定価格!!

¥300,000 -

【 つれづれ しずか 徒然静か 】



三名様以上用

石碑・拡張カロート付

据付代込

※ 字彫り代別途
¥20,000- / 1名様(税込)

墓地区画使用料 ¥ 120,000-
静か碑代金 ¥ 460,000- (税込)
参考費用計 ~~¥ 580,000~~

特別限定価格!!

¥480,000 -



ああ、よかったと思う瞬間…

有限会社 あま石材